

長岡技術科学大学定例記者会見

日 時 : 平成26年9月9日(火) 13:30~

場 所 : 本学事務局3階第1会議室

内 容 : 1. 第34回技大祭の開催について

(技大祭実行委員会委員長 木村文哉 (生物機能工学課程4年))

2. 5年一貫制博士課程 技術科学イノベーション専攻の入学
試験について

(電気系 大石 潔 教授)

3. 三機関が連携・協働した教育改革事業

メキシコ・モンテレイ事務所の開所式について

(環境・建設系 高橋 修 教授)

4. (株)ブルボンと本学留学生とのコラボ商品開発

~「技学麦進」の販売について~

(産学官連携コーディネーター 戸田宏枝)

5. 2014 技術シーズプレゼンテーション in 燕三条地場産業振
興センターの開催について

(テクノインキュベーションセンター長、機械系 田辺郁男 教授)

6. GIGAKU Press (長岡技術科学大学出版会)

~初の学術図書の出版について~

(齋藤 秀俊 副学長)

7. その他

第26回外国人による日本語スピーチコンテストについて

以 上

長岡技術科学大学

第33回技大祭

This year's theme

Scramble!

日時:9/14 [Sat]
10:00~18:00

日時:9/15 [Sun]
10:00~19:00

場所:長岡技術科学大学

33rd Nagasaki

University

of Technology

Festival

SCRAMBLE

9/14, 15

報道資料

平成26年9月9日

報道機関各位

長岡技術科学大学

5年一貫制博士課程「技術科学イノベーション専攻」の入学試験について

7月15日の定例記者会見にて発表いたしました、5年一貫制博士課程「技術科学イノベーション専攻」(平成27年4月学生受入れ開始)の初めての入学試験を下記のとおり実施いたします。本専攻は5年一貫制の博士課程ですが、能力・実績を厳格に評価した上で、最短3年で修了できるカリキュラムを設定、海外での研究・実務を複数回経験するなどのプレミアム教育により、グローバルに活躍するプロジェクトマネージャー、ベンチャー起業家、イノベーション創出研究者を養成し、日本の新産業創出や活性化を牽引していくことを目指していきます。

記

第1次募集

募集人員	15人
出願期間	平成26年 9月16日(火) ~ 平成26年 9月19日(金) [期間内必着]
試験の期日・場所	平成26年 9月28日(日) 午前10時~ 長岡技術科学大学
合格発表日	平成26年10月 9日(木) 午前10時

第2次募集(欠員が生じた場合のみ実施します。)

募集人員	若干人
出願期間	平成27年 1月19日(月) ~ 平成27年 1月22日(木) [期間内必着]
試験の期日・場所	平成27年 2月 2日(月) 午前10時~ 長岡技術科学大学
合格発表日	平成27年 2月19日(木) 午前10時

入試方法

口述試験(専門科目・英語)

面接

平成 26 年 9 月 9 日

報道機関 各位

長岡技術科学大学

三機関が連携・協働した教育改革事業（グローバル人材育成・海外展開）
メキシコ・モンテレイ事務所の開所式について

長岡技術科学大学では、平成 26 年 8 月 21 日（木）に「三機関（長岡技術科学大学、豊橋技術科学大学、国立高等専門学校機構）が連携・協働した教育改革事業」（国立大学改革強化推進事業）の一環として、本年 6 月 1 日に開設した「長岡技術科学大学三機関連携事業モンテレイ事務所」の開所式を開催しました。

開所式には、日本から豊橋技術科学大学、国立高等専門学校機構の関係者、現地からヌエボレオン州の政府関係者、モンテレイ大学及びヌエボレオン大学関係者、モンテレイの地元企業及び日系企業関係者、報道関係者等、約 60 名が出席しました。開所式では本学を代表し、三上喜貴副学長（国際交流担当）が挨拶を行い、来賓代表の豊橋技術科学大学国際協力センター長 穂積直裕教授、国立高等専門学校機構 勝平宏事務局部長、ヌエボレオン大学 Carlos A. Charles Cruz 土木工学部アカデミックコーディネーターから祝辞をいただきました。また、現地からリクエストのあった「達磨」を持参し、事務所の成功を祈念して、本学三上副学長及びモンテレイ大学 Fernando Mata Carrasco 副学長により、達磨の目入れ式を行いました。最後に、Antonio J. Dieck Assad モンテレイ大学長から閉会の辞をいただきました。

併せて、同日、モンテレイ大学及びヌエボレオン大学の協力を得て、ジョイントセミナー及びワークショップを開催し、モンテレイ大学、ヌエボレオン大学の教員及び学生、モンテレイ大学付属高校の学生、企業関係者等、約 120 名が参加しました。ジョイントセミナーでは、豊橋技術科学大学 穂積直裕教授、国立高等専門学校機構 勝平宏事務局部長及び本学三上副学長が各機関の概要説明を行い、その後、「加工・接合技術」・「流体力学の応用」及び「道路と交通」に分かれてセミナーを実施、ワークショップでは、「ウインドカーの製作」と「液状化の原理」をテーマに各大学の学生及びモンテレイ大学付属高校の学生が参加し、装置の作製や実験を通して物の動きや現象のメカニズムについて理解を深めました。

本学は、モンテレイ大学を含むメキシコの 9 大学と学術交流協定を締結しており、現在 18 名のメキシコ人留学生在が在籍しています。累計では、73 名のメキシコ人留学生を受け入れており、そのうちの 3 名が本学を卒業した後、現地の大学・研究機関で教育・研究活動を行っております。

これからも、本学はメキシコの関係機関、産業界との更なる連携強化を図ってまいります。

報道資料

平成26年9月9日

報道機関各位

長岡技術科学大学

(株)ブルボンとのコラボ商品開発品「技学麦進」の販売について

産学官連携コーディネーター 戸田宏枝

1. 概要

このたび、第一弾の技大せんべい「技学米進」、第二弾の技大焼酎「技学之功」に続く、長岡技大グッズ第三弾として、株式会社ブルボンとの共同開発した「技学麦進」が完成しました。この「技学麦進」は、留学生を主体として厳選したクッキーアソートメントです。その中に、クッキーを厳選した留学生の自己紹介（日本語、英語、留学生の母国語の3ヶ国語の表記）とお菓子の紹介を入れたリーフレットが付いています。

「技学麦進」の作製に至る主たる目的のひとつは、学生が商品開発プロセスを学ぶことにより、商品販売促進の仕組み及び商品の流通を通して、世界各国で展開する仕組みを学ぶことです。このことは最終的に、本学が柱とする「技学」の発信に繋がります。

2. コラボ商品開発を行うにあたり

中身の選定を行う為のアンケートと包装紙、手提げ袋については、感性情報工学研究室の学生がゼミにて取り組みを行いました。感性情報工学研究室では、何かモノを購入する際に見た目のよさ、カッコ良さ等、評価されるモノを作製出来るかどうかを感性工学の観点より研究を行う研究室です。このような感性や五感に関する研究に取り組んでおり、包装紙や紙袋のデザインも研究テーマに沿う学生が手掛けました。また、デザインの著作権や類似等の知的財産権についても実践的に学ぶ機会を設けることにより、テキストにはない体験をすることが出来ました。

3. 販売について

この産学官連携事業の成果として、8月25日に本学売店にて販売を開始致しました。本学のお土産として、国内のみならず、留学生が母国に持ち帰ることにより、国外にも本学の名が広まることが期待されます。



2014 技術シーズプレゼンテーション IN 燕三条地場産業振興センター

<http://ntic.nagaokaut.ac.jp/seeds2014.html>

日時 平成26年10月1日(水) 13時30分～15時50分

会場 燕三条地場産業振興センター メッセピア4階大会議室
〒955-0092 新潟県三条市須頃1丁目17番地 / Tel: 0256-35-7811 (代)

参加対象

県内外の企業等、自治体関係者、大学等教職員、大学院学生等

主催

長岡技術科学大学 新潟工科大学 長岡工業高等専門学校

共催

一般財団法人燕三条地場産業振興センター

後援

公益財団法人長岡技術科学大学技術開発教育研究振興会、長岡技術科学大学協力会、
新潟工科大学産学交流会、長岡工業高等専門学校技術協力会

主幹イベント

燕三条ものづくりメッセ2014 / 10月1日(水)～2日(木) / <http://tsm2014.tsjiba.or.jp>

プログラム

13:30 開会挨拶

長岡技術科学大学テクノインキュベーションセンター長 **田辺 郁男**
一般財団法人燕三条地場産業振興センター専務理事 **塩浦 時宗**
司会進行 長岡技術科学大学テクノインキュベーションセンター副センター長 **菊池 崇志**

**13:35 プレゼン① 傾斜プラネタリ加工による炭素繊維強化樹脂
及びチタン合金の穴あけ**

長岡技術科学大学 機械系 助教 **田中 秀岳**

14:00 プレゼン② 天然ガスを主燃料とする二元燃料ディーゼル機関

新潟工科大学 工学部 機械制御システム工学科 教授 **吉本 康文**

14:25 プレゼン③ システム安全の概念を考慮した食品用高圧処理装置の開発

長岡技術科学大学 システム安全系 准教授 **大塚 雄市**

14:50 プレゼン④ 絶縁性セラミックスの放電加工技術

長岡工業高等専門学校 機械工学科 助教 **金子 健正**

15:15 プレゼン⑤ 金属キレート原料を用いたセラミックス高速コーティング技術

長岡技術科学大学 工学部 研究員 **小松 啓志**
長岡技術科学大学 副学長 物質・材料系 教授 **斎藤 秀俊**

15:40 閉会挨拶

長岡技術科学大学テクノインキュベーションセンター長 **田辺 郁男**

15:50 終了

1

傾斜プラネタリ加工による炭素繊維強化樹脂及びチタン合金の穴あけ

長岡技術科学大学 機械系 助教 ^{たなか ひでたけ} 田中 秀岳参考URL http://mcweb.nagaokaut.ac.jp/j/laboratory/laboratory_01

発表の概要

難削材である炭素繊維強化樹脂 (CFRP) とチタン合金の穴あけ加工において、ボールエンドミル状の工具の回転軸を傾斜させ公転運動を行うことにより、高効率かつ高品質の穴あけ加工が可能となる。また、装置単体で傾斜プラネタリ加工が可能な小型のスピンドルユニットを開発しており、穴あけ加工の新技術について説明する。

キーワード

①CFRP ②CFRTP (熱可塑性CFRP) ③チタン合金 ④オービタル加工 ⑤傾斜プラネタリ加工

2

天然ガスを主燃料とする二元燃料ディーゼル機関

新潟工科大学 工学部 機械制御システム工学科 教授 ^{よしもと やすみ} 吉本 康文参考URL <http://www.niit.ac.jp/>

発表の概要

資源・環境面で優位性のある天然ガスを主燃料に用いた「二元燃料ディーゼル機関」の特性について紹介する。本方式では既存エンジンの吸気管に天然ガスを供給し、シリンダ内に形成された予混合気中にディーゼル燃料を噴射して着火、燃焼を行う。この方式によれば、高負荷運転を行うことにより既存エンジンの高い熱効率を維持しながら通常燃料の75%程度までを天然ガスに置き換えることが可能である。加えて、排気中のスモークは大幅に低減する。

キーワード

①二元燃料ディーゼル機関 ②天然ガス吸入 ③機関性能 ④燃焼特性 ⑤排ガス特性

3

システム安全の概念を考慮した食品用高圧処理装置の開発

長岡技術科学大学 システム安全系 准教授 ^{おおつか ゆういち} 大塚 雄市参考URL <http://sdfrs.nagaokaut.ac.jp/>

発表の概要

システム安全の概念を考慮し、リスクアセスメントにより故障しても安全性を確保できる高圧処理装置を開発し、特許を取得した。食品に圧力を加えることで様々な機能性を高めることが可能であるが、装置コストが課題である。あらかじめ故障モード・リスクを具体的に設定し対策を講じるためにリスクアセスメントを実施する。圧力容器の破損が発生しても、周囲への飛散を防止し安全性を確保することで、経済性と安全性の両立を達成した。

キーワード

①超高圧処理装置 ②食品加工 ③リスクアセスメント ④フェールセーフ ⑤システム安全

4

絶縁性セラミックスの放電加工技術

長岡工業高等専門学校 機械工学科 助教 ^{かね こ けんせい} 金子 健正参考URL <http://www.nagaoka-ct.ac.jp/>

発表の概要

本技術は絶縁体であるセラミックスに対して放電加工を適用し、形彫り・ワイヤ放電加工や加工穴直径500 μ m以下の微細放電加工を実現するものである。絶縁体表面を導電性材料で覆い、放電加工油中で加工を行うことで、加工中に発生する熱分解カーボンなどにより導電性を有する被膜を形成させて加工を行う手法であり、補助電極法と呼んでいる。本発表では、補助電極法の加工原理、各種絶縁性セラミックスの放電加工特性及び射出成型型への入れ子部品への応用例などについて紹介する。

キーワード

①絶縁性材料 ②セラミックス ③放電加工 ④微細加工 ⑤補助電極法

5

金属キレート原料を用いたセラミックス高速コーティング技術

長岡技術科学大学 工学部 研究員 ^{こまつ けいじ} 小松 啓志 / 長岡技術科学大学 副学長 物質・材料系 教授 ^{さいとう ひでとし} 斎藤 秀俊参考URL <http://hts.nagaokaut.ac.jp/>

発表の概要

ごく普通の溶射用フレーム装置の原料にセラミックス粉のかわりに金属キレートを使うと、手軽に酸化セラミックスコーティングができる。その速さは数秒で10 μ m以上である。従来技術のプラズマ溶射装置や高速フレーム (HVOF) 溶射装置と比べると、小型で簡単な装置構成である。たとえば溶射用フレーム装置のトーチが手で持てるため、部材への現場施工なども可能である。

キーワード

①金属キレート ②セラミックスコーティング ③高速堆積

2014技術シーズプレゼンテーション 申込書 ※複数人でお申し込みの場合は、用紙をコピーしてご使用ください

平成26年9月22日(月)までにFaxまたはEメールにてお申し込みください

長岡技術科学大学 テクノインキュベーションセンター

FAX: 0258-47-9183 送信書不要

E-mail: nticstaff@jcom.nagaokaut.ac.jp

ふりがな 会社名 (正式名称)		所在地 (勤務先)	〒
ふりがな 氏名		所属 役職	
電話		F A X	
E-mailアドレス			
参加希望テーマ (☑印)	<input type="checkbox"/> ①	<input type="checkbox"/> ②	<input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤

お問い合わせ 長岡技術科学大学 産学・地域連携課 TEL: 0258-47-9278 E-mail: sangaku@jcom.nagaokaut.ac.jp

GIGAKU Press (長岡技術科学大学出版会)～初の学術図書の出版について～

長岡技術科学大学の教育研究成果(論文、研究データ、教材など)を社会に対して積極的に広報・発信することを目的に、昨年9月に本学内にGIGAKU Press(長岡技術科学大学出版会)を設立しました。

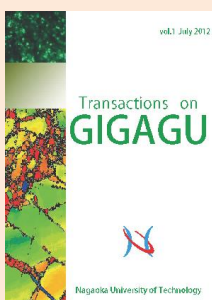
出版は電子出版を主とし、GIGAKU Press ホームページから本学の学術情報を発信し、どなたでもブラウザから閲覧できると共にダウンロードも行えます。

GIGAKU Press : <http://lib.nagaokaut.ac.jp/gigaku-press/>

この度、GIGAKU Press での初の学術図書の出版として、長岡技術科学大学名誉教授 矢田敏夫先生の学術図書電子版「負荷に対して共通表示方式の弾性計算式」を8月25日の発行日で刊行しました。この図書はシリーズとして全十巻の発行を予定しています。次に、出版第二弾として、9月1日の発行で、本学で行われたUDプロジェクトで作成された冊子のうち「はじめての集中講義物語」「はじめての集中講義物語2」「UD流!文章術」を電子化し復刊しました。UDプロジェクトの冊子は8冊あり、順次電子化復刊を行います。また、電子ジャーナル『Transactions on GIGAKU』については、第2号を編集中であり、近日中には刊行します。

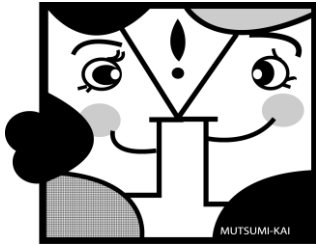
GIGAKU Pressにより、自著の出版、共同研究の出版はもとより、カリキュラムに即したテキスト、高等専門学校教員との共同出版等により、本学創設の精神を具現化できると共に、本学の教育研究活動の活性化が期待されます。

GIGAKU Press 刊行物一覧



左上から順に

- ① 負荷に対して共通表示方式の弾性計算式 矢田敏夫著
- ② はじめての集中講義物語 上村靖司著
- ③ はじめての集中講義物語2 上村靖司著
- ④ UD流!文章術 児玉茂昭著
- ⑤ Transactions on GIGAKU(電子ジャーナル)



むつみ会 第26回

外国人による日本語スピーチコンテスト

むつみ会

会 長 長尾 すみ子

実行委員長 小林 美和子

出場者募集のお知らせ

拝 啓、紫陽花も色濃くなり、夏へと向かっていきますが、いかがお過ごしですか。
いつも、むつみ会の活動や行事にご協力、ご参加いただきまして、ありがとうございます。
恒例の「外国人による日本語スピーチコンテスト」 第26回を下記のように開催したいと思います。
日ごろ、みなさんが感じていらっしゃる事、経験されたことなどを長岡市民のみなさんにどうぞお話ししてください。県内の留学生、外国人のみなさんからの多数のご応募をお待ちしております。
また、コンテスト終了後、同じ会場で、市民のみなさんと楽しくお話する交流会を開く予定です。

..... 記

日 時 : 2014年9月27日(土) 午後1:00~4:00

会 場 : 長岡商工会議所2階ホール

(長岡市坂之上町2-1-1、tel-32-4500 JR長岡駅大手口より徒歩8分)

参加資格 : 県内在住の外国人

演 題 : 自由

募集人数 : **10名 応募者多数の場合、原稿審査あり。応募は必ず原稿を添えて締切りまでに申し込むこと。**

(過去に出場したことがある方は参加できません。)

スピーチ時間 : **5分**

賞	:	長岡市長賞	1人	賞状 盾	副賞5万円
		長岡商工会議所会頭賞	1人	賞状 盾	副賞3万円
		長岡技術科学大学学長賞	1人	賞状 盾	副賞3万円
		国際ソロプチミスト長岡賞	1人	賞状 盾	副賞3万円
		ライオンズクラブ賞	1人	賞状 盾	副賞3万円
		(公財)長岡市国際交流協会賞	1人	賞状 盾	副賞2万円
		むつみ会賞	1人	賞状 盾	副賞2万円
		参加賞			副賞1万円

応募方法 : 出場希望者は、出場者申込用紙(技大国際交流ラウンジ、市民センター等にあり)に必要事項を記入し、**必ず原稿を添えて**、応募先まで E-mail、郵便または FAX でお送りください。

応募期間 : **7月9日(水)~8月23日(土)まで**

原稿審査結果の通知 : **9月1日(月)**

応募先 : 小林美和子 E-mail: miwakowe@nct9.ne.jp

〒940-0071 長岡市表町1-10-3 TEL/FAX : 0258-36-0114